

スコアボードの完成を記念 中学生野球の県大会を開催

6月27日、第38回県少年軟式野球大会の開会式が町総合運動公園野球場で開かれました。同球場のスコアボード改修工事の完成記念を兼ねたこの大会には、県内の中学生クラブ28チームが参加。開会式では山田中生徒会長の中嶋永君（3年）が歓迎の言葉を述べた後、豊間根中クラブの豊間根練君（3年）が「今まで支えてくれた方々に感謝し、最後まで全力でプレーします」と選手宣誓を行いました。開会式終了後の始球式では荒川小学校の森谷秀吾君（6年）が見事な投球を披露、熱戦の火ぶたが切って落とされました。大会は3日間の日程で行われ、浄法寺野球倶楽部（二戸市）が優勝を果たしました。



オランダ島まつり &ビーチフェスタ 2会場に4,500人が来場 たらい船漕ぎレースに声援

7月26日、「三陸山田オランダ島まつり&ビーチフェスタ」が、山田漁港とオランダ島を会場に開かれました。山田の魅力発信実行委員会（阿部幸栄会長）が通年事業「三陸山田楽山楽水の郷2009」の一環として山田町観光協会と開催したもので、好天に恵まれた当日は4,500人の家族連れなどでにぎわいました。このうちオランダ島会場では、マリンスポーツ体験や宝探しなどのイベントが行われたほか、「たらい船漕ぎレース」には町内外の小学生25人が挑戦。オールを器用に操りゴールへ向かう参加者に交じり、バランスが取れず思うように進めない子供もいて、会場は保護者らの声援で盛り上がりました。

栄和人さんを講師に特別講演会 貴重な体験に聴衆聞き入る

7月4日、町生涯学習推進本部主催の「マナビィネットワークinやまだ特別講演」が町中央公民館で開かれ、日本レスリング協会女子強化委員長の栄和人さん（中京女子大学教授）が「夢や情熱を持ち続けることの大切さ」と題し講演を行いました。現役時代、世界4位になった後その功績の重圧に苦しんだ栄さん。「家族のアドバイスで目標が明確になり、生きることへの充実感を覚えました。試練は何度でも訪れますが目標を持つことで乗り越えられます」と厳しい世界を経験した貴重な体験談に、集まった550人の聴衆は真剣に聞き入っていました。講演には教え子の吉田沙保里選手も登場。実技指導や質疑応答、サイン入りグッズが当たるじゃんけん大会が行われ、会場は大きな笑いと拍手に包まれました。



「数々の試練も目標を持ち乗り越えてほしい」と話す栄和人さん（丸写真）／急きょ行われたじゃんけん大会に会場は笑いと拍手に包まれました

